

令和 5 年産大崎地域の 大豆作技術情報(第 3 号)

令和 5 年 7 月 27 日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～栽培のポイント～

- ・中生品種では開花が始まっています。開花状況を確認しましょう。
- ・雑草の発生が目立つ場合は、適切な雑草防除を行いましょう。

1 気象経過

- ・期間を通して、平年よりも高温多照の傾向で推移しました。
- ・東北南部の梅雨入りは 6 月 11 日（平年より 1 日早い）、梅雨明けは 7 月 22 日（平年より 2 日早い）となりました。6 月第 4 半旬、7 月第 4 半旬にまとまった降雨がありました。

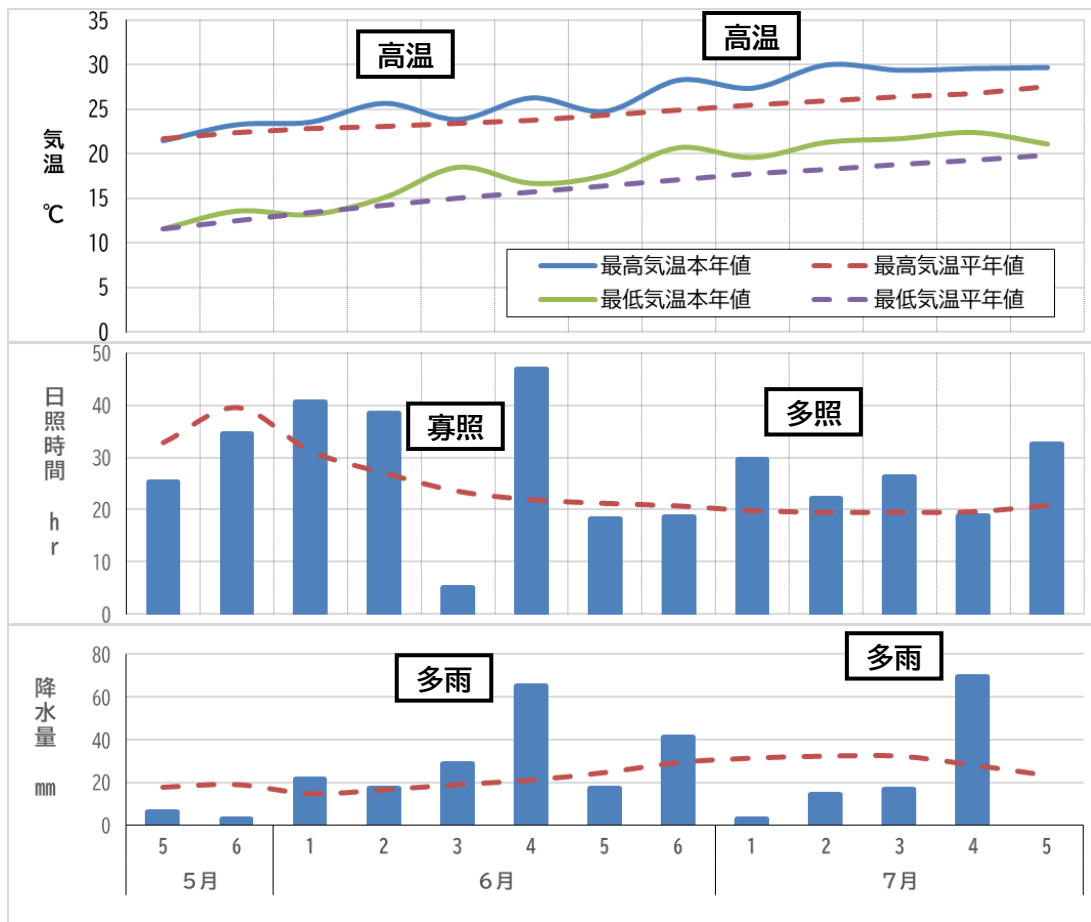


図 1 5 月第 5 半旬から 7 月第 5 半旬までの気象（古川アメダス）
※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値

2 生育概況(7月25日現在)

- ・播種時期は、6月2日を除き、好天が続きました。そのため、平年より1~2日早く播種したほ場が多く、適期での播種となりました。
- ・出芽は良好であり、7月25日調査では、主茎長、主茎節数、分枝数ともに平年並み~平年を上回るほ場が多くなりました。
- ・「タンレイ」(中生)、「タチナガハ」(中生の晩)、「すずみのり」(中生の晩)では、開花が確認されました。平年より7~8日早い開花となっています。

表1 生育調査結果

地区名 品種名	区分	播種日	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	開花期
古川 タンレイ	本年	5/27	65.0	14.2	2.8	7/20
	平年比	1日早い	136%	120%	173%	8日早い
古川 ミヤギシロメ	本年	6/2	44.4	11.5	2.0	未
	平年比	1日早い	97%	105%	109%	
三本木 きぬさやか	本年	6/7	30.9	8.9	0.5	未
	平年比	2日早い	105%	115%	83%	
小野田 タチナガハ	本年	6/8	35.0	9.8	0.7	7/26
	平年比	2日早い	108%	107%	173%	7日早い
小野田 すずみのり	本年	6/8	40.3	10.1	1.8	7/25
中新田 すずみのり	本年	5/30	68.4	12.7	2.8	7/22

※1 平年比は、前5カ年(平成30年~令和4年)の平均値との比較

※2 「小野田すずみのり」、「中新田すずみのり」は令和5年より調査開始



写真1 小野田「すずみのり」



写真2 古川「ミヤギシロメ」

3 今後の栽培管理のポイント

- ・雑草の発生が目立つほ場では、開花していないことを確認して、除草剤散布を実施しましょう（除草剤については大豆作技術情報第2号を参照）。
- ・中耕培土未実施のほ場では、中耕培土を最低1回は実施しましょう。
- ・降雨が続く場合は、降雨の前後に排水溝や明きよを点検し、排水が滞らないようにしましょう。

東北地方 1 か月予報

(7月29日から8月28日までの天候見通し)

令和5年7月27日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	30	60
3~4 週目	東北地方	20	40	40

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆農薬危害防止運動(6月1日~8月31日)◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

